

由建設第1021007号

平成20年10月29日

国土交通省 道 路 局 長 殿

由布市長 首 藤 奉 文



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のあった、上記のことについて別紙により提出します。

記

別 紙

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

大分県由布市

地方の住民が安心して暮らせるよう、地方が望む道路整備の着実な推進を要望いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

大分県由布市

○現状

国道について

国道210号については片側1車線で改良済みであるが、通常でも交通量が多い上、大分自動車道の通行止めによりさらに通行量が増え、市内各箇所において渋滞が生じている。

複数の交差点に右折車線が設置されていないことが要因となっている。

県道については市内に約155km網羅されているが、周辺部においては未改良区間が多く市民の日常生活に支障が生じている。

市道の延長は約600km、改良率約60%で未改良区間が約240km存在している。

このため救急出動、消防出動に時間を要するなど、市民の日常生活に不安を与えている

また、路面の補修、排水施設の整備など、道路の維持管理に関する市民の要望が多いが十分な対応ができていない。

○課題

事業用地の取得が困難な面もある

改良を必要とするが財源の確保が困難

改良を必要とするが財源の確保が困難

道路維持管理財源の確保

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

大分県由布市

融和、協働、発展を基本理念とし、豊かな自然を守り活かし、農林業、観光業、工業、商業等の産業が相互に補完し、さらに市民同士が支え助けあう、いきいきとした住みやすいまちづくりを目指します。

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

大分県由布市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・市内の幹線道路網の整備促進及び道路の維持管理の拡充 ・ ・ ・		日常生活における利便性の向上及び救急、緊急出動における時間の短縮等、市民が安心して暮らせる環境を整えることができる。	